

東濃社会教育だより -CS-

岐阜県恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当：牧野 賢一
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 210

恵那市立東野小学校 学校運営協議会に参加しました

令和8年7月27日(火)13:30
開始で学校運営協議会委員、東野小学校の先生方、こども園副園長が参加しました。岐阜県が岐阜大学と共同で設置しているぎふ地域学校協働活動センターの市町村支援プログラム(講師派遣プログラム)を活用し実施しました。

最初に、岐阜県環境エネルギー生活部県民生活課渡辺課長補佐より、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動について県内の最新の状況を含めてお話いただきました。その後、恵那県事務所(東濃教育事務所)牧野が「東野の子どもたちがどう育ってほしいか」をテーマに熟議のファシリテーションを行いました。

当日は、大変暑い日でしたが、16名が3グループに分かれて熟議を行いました。以下に東野小学校の取組から学びたいこと3点をまとめました。

<参加者の顔ぶれ>

- CS委員等 7名(東野開発振興会会長、交通安全協会東野支部長<地域講師代表>、東野コミュニティセンター副センター長、PTA 会長、東野こども園園長、地域学校協働活動推進員、東野振興事務所長)
- 先生方 9名(校長、教頭、担任、こども園副園長等)

熟議とは・・・

多様な関係者や当事者が十分に時間をかけ(熟慮)、本音で意見を交わし(議論)、共通認識を作り出す話し合いのプロセスのことです。

○長い活動年数(9年目)を経て、今一度「目指す子ども像」を明確にしたいという問題意識から熟議が行われているところ

東野小学校では、現時点においてふるさと教育、クラブ活動指導、農業体験等々、地域の方々のお力をお借りして数多くの教育活動を実践しています。しかし、活動自体が目的化していないかという問題意識から今一度「目指す子ども像」を明確にすべきであるという思いから熟議を実施されました。



書いた付箋を話しながら並べます



出された意見をカテゴリーに分け、カテゴリー相互の関係も明記されています

○夏休みの午後(13時30分～15時30分)の時間で会が設定されており、学校運営協議会委員様方とともに先生方も参加くださったところ

夏休みの午後会議をもつことで、先生方が参加できるようになります。先生方が、学校運営協議会委員の皆さんと顔見知りになることで、お互い話やすくなります。校長先生や教頭先生だけでなく、多くの先生方が地域の方々とお互いを名前で呼び合える関係になることで、子どもたちのこと、学校のこと、地域のことなど率直に話ができるようになります。ここから新しい活動のアイデアが生まれることがあります。さらに、お互いの困りごとを共有することで、学校課題の解決のみに限らず、地域課題の解決にもつながるような活動のアイデアが生み出されます。学校-地域が Win-Win の関係を築きたいです。



笑顔が素敵です

○質の高い熟議が展開されたこと

今回が初めての熟議とは思えないくらい、最初の段階で多くの付箋に「どんな子どもを育てたいか」を各自が記入されていました。それをもとに、積極的な議論を行い、カテゴリー分けやそれぞれのカテゴリーの関連についても分かりやすく線で結んだり、矢印をつけたりしてみえました。また、質の高い話をしつつも、時折、笑顔もみえるなど、和気あいあいとした雰囲気が素敵でした。

ぎふ地域学校協働活動センターの**市町村支援プログラム（講師派遣プログラム）**を活用ください（無料で講師を派遣してもらえたり、指導が受けられたりします）

令和7年度には、同プログラムを活用して、恵那市立中野方小学校は総合的な学習の時間において地域と連携した学習を校内研究とするために岐阜大学の益川教授から指導・助言を受けられました。

また、中津川市立西小学校の学校運営協議会において熟議のファシリテーションをさせていただきました。

ご相談は、各市生涯学習・社会教育担当課か下記担当までお願いします。

GIFU
ぎふ地域学校協働活動センター

岐阜県

地域学校協働活動フォーラム

日時

9月15日 火

13:30～16:30

オンライン開催

○講演：「地域と学校の協働で育む子どもたち」文科省 CS マイスター 大谷裕美子氏

○実践発表：県立武儀高校 地域課題研究・外来植物の持続可能な駆除を目指して
・誰もが安心して病院へ行けるまちへ

○報告：ぎふ地域学校協働活動センター活用状況 岐阜大学 益川浩一教授

★ 申込はまだ間に合います。ぜひ、視聴ください。